

平成 28 年度県立図書館事業実績

1 図書館資料の整備・充実（資料保存センター機能）

□収集方針：県内図書館との相互協力関係を通じて、図書館の図書館としての機能を発揮するために市町図書館との役割分担を行うとともに、調査相談センターとしての機能を果たすために各分野の学術書や専門図書を中心に収集する。
また、兵庫県関係の郷土・行政資料については、網羅的に収集する。

□選定方法：収集方針に基づき毎週選書委員による選書会議等において購入図書を選定する。

(1) 蔵書等の状況

① 受入別 図書はH29年3月末現在で、昨年度末より4,018冊（受入：7,370冊 除籍：3,352冊）の増となっている

区分	分類	図書 (冊)	マイクロフィルム		CD-ROM (枚)	視聴覚資料								地形図等 (枚)
			ロール (巻)	フィッシュ (枚)		映画フィルム (巻)	スライド (巻)	レコード (枚)	録音テープ (巻)	コンパクト ディスク (枚)	ビデオ テープ (巻)	ビデオ ディスク (枚)	DVD (枚)	
H 27 年度 末	購入	349,778	8,098	1,084	196	28	2	2,317	9	396	1,475	1,687	10	7,032
	受贈	264,004			684	1		58	300	262	1,095	12	6	3,718
	その他	24,884				232	1		23		250		9	6
	計	638,666	8,098	1,084	880	261	3	2,375	332	658	2,820	1,699	25	10,756
H 28 年度 末	購入	352,235	8,217	1,084	196	28	2	2,317	9	396	1,475	1,687	10	7,046
	受贈	265,955			684	1		58	300	262	1,095	12	6	3,718
	その他	24,494				232	1		23		250		9	6
	計	642,684	8,217	1,084	880	261	3	2,375	332	658	2,820	1,699	25	10,770

② 類別 H28年度の増加数4,018冊のうち、1,376冊が郷土・地方行政資料である。(約34.2%)
(単位：冊、(%))

区分	蔵書数	左の類別内訳										
		総記	哲学 宗教	歴史 地理	社会 学	自然 科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
H 27 年度 末	図書	638,666	46,081	28,866	85,908	178,757	45,276	57,391	46,884	57,028	12,180	80,295
	上記のうち 郷土・地方行政資料	101,578	3,110	1,344	17,487	37,941	4,472	6,112	7,833	9,572	315	13,392
H 28 年度 末	図書	642,684	45,874	28,857	86,611	180,329	45,751	57,708	47,200	57,610	12,254	80,490
	上記のうち 郷土・地方行政資料	102,954	3,191	1,354	17,785	38,397	4,519	6,192	7,899	9,766	320	13,531

(2) 兵庫県関連索引等データベースの整備、充実

① データベースの整備

兵庫県に関連した各種のデータベースを作成し、ホームページ上で公開している。

- ・フェニックス・ライブラリー震災関連雑誌記事索引（約5,500件）
阪神・淡路大震災関連の雑誌記事の検索
- ・郷土雑誌記事索引（約22,800件）
兵庫県内の歴史・地誌を扱った雑誌記事の検索
- ・兵庫県内図書館関連記事見出し検索（約5,100件）
兵庫県内の図書館等に関する新聞記事の見出し検索
- ・兵庫ゆかりの人物文献索引（約3,700件）
兵庫県にゆかりがある人物や参考文献の検索
- ・阪神・淡路大震災関連資料横断検索（約2,600件）
神戸大学附属図書館震災文庫及び阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターを含めた3館の横断検索
- ・フェニックス・ライブラリー震災資料検索（352件）（平成26年3月開始）

② 資料デジタル化の推進

兵庫県の歴史、地誌など郷土の事情に関する雑誌を中心に、保存状態の悪いものを優先してデジタル化をしている。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ・県内の郷土研究雑誌 | 156タイトル（平成22年度） |
| ・県内の教育関係雑誌 | 76タイトル（平成23年度） |
| ・図書資料 | 233冊（平成23・25年度） |
| ・フェニックス・ライブラリー所蔵図書 | 825冊（平成23・25年度） |
| ・ビデオテープ | 390本（平成25年度） |

2 資料・情報の迅速・的確な提供（調査相談センター機能）

(1) 利用者数

(人)

室	大閲覧室	ふるさとひょうご情報室	新聞資料室	音楽資料室 ビデオライブラリー室	仮設図書館	小計	講座等利用者 (館外含む)	総計
H28年度末	23,960	5,692	6,292	51	37,810	73,805	4,242	78,047
H27年度末	136,112	28,690	34,148	313	-	199,263	12,297	211,560

※28年度は3ヶ月の休館期間を含む

(2) 貸出冊数等

① 地区別新規登録人数

(人)

地区	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
H28年度末	478	50	23	650	22	43	19	5	3	19	5	1,317
H27年度末	854	81	52	960	64	114	29	8	9	22	12	2,205

② 地区別貸出冊数

(冊)

地区	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
H28年度末	13,205	582	836	18,592	803	1,326	424	103	66	333	141	36,411
H27年度末	22,503	531	1,045	27,912	1,289	1,878	612	168	94	415	65	56,512

③ 分類別貸出冊数

(冊)

分類	総記	哲学 宗教	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工学	産業	芸術	語学	文学	その他	計
H28年度末	3,436	2,585	6,095	6,840	3,926	2,969	1,169	3,201	741	5,400	49	36,411
H27年度末	4,730	3,781	9,154	11,460	6,220	5,058	2,133	5,599	1,231	6,950	196	56,512

(3) レファレンス

(件)

種類	内容	H28年度	H27年度
所在調査	特定資料の所蔵の有無、所蔵機関の調査	3,339	5,987
書誌的事項調査	書名、著者名、出版社、出版年等の調査	838	1,702
文献調査	一定の主題についての文献調査	2,442	6,213
事実調査	特定の事柄に関する事実についての調査	601	1,455
その他	上記以外のもので類縁機関の紹介等	1,789	3,102
計		9,009	18,459

【主な事例】

種類	事例
所在調査	Q：日本民芸協会発行の『民藝』147号と583号について A：自館の所蔵を確認すると、不二出版発行の復刻版『月刊民藝・民藝』（Z75/3/1～13）に70号まで収載されていることが判明したが、それ以降の号は所蔵していなかったため、他館の所蔵を確認。147号は国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能（図書館送信参加館限定公開）。583号は、国立国会図書館東京新館書庫（遠隔複写サービスが利用可能）。兵庫県内では、関西学院大学図書館・神戸学院大学人文学部資料室の所蔵が判明。
書誌的事項調査	Q：大避神社（赤穂市）に伝わる能面について書かれた記事（論文）について。著者は、中西 保もしくは西中 保、掲載誌は、「芸能（研究）史 第3号」、記事タイトルに、「大避神社」「能面」を含むと記憶している。 A：国立国会図書館サーチを“芸能史”で検索し、「藝能史研究」藝能史研究会 刊 を発見。第3号（「藝能史研究 = History of the performing arts. (3)」）（藝能史研究会 1963.10）の目次情報を確認すると、「資料紹介 大避神社の仮面など / 中村保雄 p38～43 (0021.jp2)」とあり。国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能（図書館送信参加館限定公開）と判明。

文献調査	Q：豊臣秀吉が有馬温泉に入湯した記録がわかる資料について A：『有馬温泉史料 上巻』（291.641/78/1）に、秀吉が有馬温泉で湯治した旨の記述がある。その他に『ゆの山御てん：有馬温泉・湯山遺跡発掘調査の記録』（216.41/K55）、『神戸史談』（Z21/22/224-233）、『有馬温泉史話』（291.641/20）、『有馬郡誌 上』（291.642/13/1）、『有馬温泉誌 校訂』（291.641/32）、『兵庫県史 第3巻』（216.4/5/3）にも記述があった。
	Q：兵庫県の「牛鬼」についての伝説、民話について A：『日本古典文学全集 22 今昔物語集 2』（918/2/22）に「於但馬国古寺毘沙門伏牛頭鬼助僧語第四十二」という話が収載されている。また、雑誌『近畿民俗 第一巻二号』（国立国会図書館デジタルコレクション図書館送信対象資料）で、「海に出た化物の話」の中に「うしおに」についての記述があった。
	Q：能楽の演目「玉井」の間狂言「貝尽」が収載されている資料について A：『謡曲大観 第3巻』（912.3/45/4）、『謡曲集 下』（918/1/41）に「玉井」が収められており、その中に「貝尽」も収載されていた。
事実調査	Q：「形」と「型」の使い分けについて A：『同音語同訓語使い分け辞典』（814.5/9）で、「かた 形・型」の解説の中に、「小形の犬／小型犬」でも、前者は単に姿が小振りの意であるが、後者には「大型・中型」などと類型化してとらえた趣がある（小形の幼犬がキャンキャン鳴く／チワワは小型犬）」とあり。その他に『漢字の使い分けときあかし辞典』（811.2/121）等を紹介した。
	Q：昭和10年代～20年代に鳥取で起きた地震の大きさと犠牲者数について A：『昭和災害史事典 1』（369.3/270/1）で、「昭和18年（1943）9.10鳥取地震」を発見。マグニチュードは7.4、死者は1,083人と判明。『日本災害史事典』にも同様の記述があった。

（4）ホームページアクセス数及び蔵書検索数

(件)

	ホームページアクセス数	蔵書検索数
H28年度末	174,254	3,098,818
H27年度末	204,576	3,117,762

（5）読書講演会・講座等の実施

読書活動を振興するための講演会開催をはじめ、地域の情報拠点の役割を担う図書館として、所蔵資料や資料に関する情報を的確に分かりやすく県民に伝えるとともに、地域の課題解決に役立つことをめざして各種の講座等を実施する。

① 読書講演会

県民が本や文字・活字に親しみ、読書意欲を高めることをめざして、時機に適したテーマ・講師を設定し開催する。

1月18日 テーマ「読む力は生きる力」 講師 脇 明子（翻訳家・評論家）

3月11日 テーマ「本があつてよかった」 講師 尼川洋子（人と情報を結ぶWEプロデューサー代表・兵庫県立図書館協議会会長）

② 図書館利活用講座

当館所蔵資料やその活用方法の例示などの情報を発信することにより、県民の学習意欲を高め、県立図書館が県民により身近な存在となることをめざす。

ア 図書館入門講座

県立図書館利用初心者を対象に、所蔵資料や情報の検索の方法などの便利な使い方などを順次紹介することにより、県立図書館をさらに有効活用していただくことをめざす。

テーマ	参加人数	期 間	内 容
兵庫県立図書館入門	5人	28. 4. 20	本を借りる・返す・予約するなど兵庫県立図書館の使い方を案内。 講師：荒川
兵庫県立図書館のホームページを使ってみよう	3人	28. 5. 21	兵庫県立図書館のホームページを使ってできることや上手な資料の探し方を案内。 講師：中井

読書入門	15人	28. 10. 19	兵庫県ゆかりの作家村上春樹について、初期の傑作『ノルウェイの森』を通じてその文学の世界を案内。 講師：溝口
仮設図書館案内	3人	28. 11. 19	県立図書館が所蔵する書庫に眠る貴重な本や様々な本を紹介。 講師：定本
「ひょうごの方言」ブックトーク	6人	28. 12. 21	兵庫の方言に関する本を「ブックトーク」で案内。 講師：吉井
本の仕組みを知ろう (和綴じ本の製作)	13人	29. 2. 15	和綴じ本の製作をとおして本の仕組みを案内。 講師：田中
レファレンス体験をしてみませんか	3人	29. 3. 18	実際にレファレンスの事例を研究しながら、レファレンスについて案内。 講師：荒川

③ 出前講座

図書および図書館の業務等について県内各地で実施される研修会・学習会等に当館職員を講師として派遣する。
(申込みに応じて随時実施)

テーマ	参加人数	期 間	内 容
図書館の上手な使い方	50人	28. 7. 5	いなみ野学園大学院講座において、県立図書館の使い方や取組みを紹介。 講師：塩田 吉井
読書会	7人	28. 10. 22	読書ボランティアの読書会に講師として参加。 講師：溝口
本の修理	32人	29. 2. 23	明石市内の小中学校学校図書館ボランティア研修会で本の修理を説明・実演。 講師：橋立 南郷
著作権	15人	29. 3. 8	淡路島内の図書館員研修会において著作権について講義。 講師：福永 小川

④ 学校サポート講座

テーマ	参加人数	期 間	対 象	内 容
効果的な情報検索の方法	90人	28. 4. 21	県立有馬高等学校	課題研究をするにあたって図書やインターネットを利用した情報の集め方や整理の方法を学ぶ。 講師：植田
読書の楽しみ	119人	28. 4. 22	県立津名高等学校	新入生を対象に、読書のおもしろさや選書のヒントを伝える。 講師：吉井
	79人	28. 4. 26		
読書講演会	450人	28. 6. 22	神戸山手女子高等学校	全校生を対象に読書のおもしろさや楽しさを伝える。 講師：吉井
図書の選定や図書館の実務について	21人	28. 7. 7	県SLA播磨東地区高校支部	高校図書館の実務担当者に、県立図書館の選書基準や日常実務について説明する。 講師：荒川
図書館司書の仕事について	72人	28. 9. 2	県立舞子高等学校	司書になるには、という進路に向けての話や県立図書館や仕事についての紹介。 講師：前川
論文作成のためのテーマ設定	120人	28. 9. 28	県立神戸甲北高等学校	論文を作成するにあたり、情報の検索や収集方法についての紹介。 講師：吉井
	120人	28. 12. 14		
学校図書館支援（図書の購入・図書委員会活性化について）	1人	28. 11. 24	県立松陽高等学校	高等学校図書室を訪問し、図書室の抱える悩み相談に対応。
図書館とインターネットを活用した情報収集の方法	20人	28. 12. 6	神戸市立須磨翔風高等学校	教職員向けに、図書館とインターネットを使った情報収集の仕方を紹介。 講師：豊浦

論文作成のための情報収集と整理法	240人	28. 12. 13	県立須磨友が丘高等学校	2年生の生徒を対象に論文を作成するにあたり、テーマに沿った情報収集・検索の仕方を紹介。 講師：豊浦
和綴じ本作りをとおして本のしくみを知る	29人	28. 12. 16	県立伊川谷北高等学校	図書委員を対象に和綴じ本作りをしながら本のしくみを紹介。 講師：田中 吉井
効果的な情報検索の方法	30人	29. 2. 9	県立有馬高等学校	教職員向けに図書館とインターネットを使った効果的な情報検索の方法を紹介。 講師：塩田 佐圓
図書館とインターネットを活用した情報収集の方法	18人	29. 2. 24	神戸市立須磨翔風高等学校	教職員向けに、図書館とインターネットを使った情報収集の仕方を紹介。 講師：豊浦

(6) 子ども読書活動推進事業

① 関連講座及び展示

子どもの読書活動を推進する県民等を対象に講座・講演会を開催し、情報発信するとともに、読書ボランティアの指導者養成を行う。

事業名	参加人数	期 間	内 容
子供の読書週間イベント 「読み継がれてきた絵本」展	—	28. 4. 22～ 6. 5	「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)にちなんだ絵本を展示。
えほん de ピクニック	91人	28. 4. 23	たくさんの絵本に囲まれた中で自由に絵本との出会いを楽しむ空間をつくり、読書の楽しみの普及を図る。また、11月19日には武庫川女子大学文学部教育学科学生による科学実験ワークショップも開催。
	13人	28. 11. 19	
明石公園を探検して 葉っぱのミニずかんを作ろう！	12人	28. 10. 16	明石公園を散策して、葉っぱを集めて自分だけのミニずかんを作る。 講師：県立人と自然の博物館研究員 小館誓治
子ども読書スキルアップ講座	38人	29. 2. 17	子ども読書活動関係者のさらなるスキルアップをめざして研修会を実施。テーマ：「ブックスタート」 講師：NPOブックスタート職員 出原道恵

② ひょうご子ども読書活動推進フォーラム（文部科学省委託事業）

県内の子ども読書活動を活性化し、地域での持続可能な体制を構築するため、「地域をつなぐコーディネーターによる読書コミュニティ拠点の形成」を柱にした地域全体の子ども読書ネットワークの連携強化や拡大に向けたフォーラムを実施し、子ども読書活動の取組をさらに継続、発展させていくことをめざす。

事業名	子ども読書活動を推進するため つながる図書館等研修					
日 時	28. 7. 11 13:00～16:00			場 所	兵庫県民会館	
参加人数	図書館関係	行政関係	合 計			
	31人	2人	33人			
講 演	タイトル：「子ども読書活動を推進するためにつなごう！」～効果的な協働の場作りのポイント～ 講 師：ライフデザイン研究所LAP 代表 岩木啓子					
事業名	阪神・丹波地区フォーラム					
日 時	28. 10. 2 13:00～16:00			場 所	川西市アステ市民プラザ	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合 計	図書館・教職員
	17人	34人	21人	15人	87人	59%
講 演	タイトル：「えーさくおじさんの絵本をめぐる冒険」 講 師：島根県立大学短期大学部教授 「おはなしレストラン」代表 岩田英作					
事業名	神戸・淡路地区フォーラム					
日 時	28. 10. 23 13:00～16:00			場 所	神戸市勤労会館	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他（一般、学生）	合 計	図書館・教職員
	27人	35人	19人	13人	94人	66%
講 演	タイトル：「本を読むって楽しい！ ～伝える、広げる子どもの読書～」 講 師：元大阪府立中央図書館司書 元同志社大学非常勤講師 脇谷邦子					

事業名	播磨東地区フォーラム					
日時	28.10.30 13:00~16:00			場所	加古川総合文化センター	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他(一般、学生)	合計	図書館・教職員
	33	49	5	9	96	85%
講演	タイトル:「家読で学校と家庭と地域をつなぐ」 講師:家読推進プロジェクト代表 子ども司書推進プロジェクト顧問 佐川二亮					
事業名	播磨西地区フォーラム					
日時	28.11.6 13:00~16:00			場所	姫路市立城内図書館	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他(一般、学生)	合計	図書館・教職員
	20	79	17	18	134	74%
講演	タイトル:「図書館で調べる、よろこび、たのしさ」 講師:神奈川県立川崎図書館司書 高田高史					
事業名	但馬地区フォーラム					
日時	28.11.12 13:00~16:00			場所	じばさんTAJIMA	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他(一般、学生)	合計	図書館・教職員
	22	40	23	10	95	65%
講演	タイトル:「子どもに本の楽しみを」 講師:日本図書館協会認定司書 元浦安市立中央図書館司書 伊藤明美					

事業名	全県フォーラム					
日時	28.12.18 10:00~16:00			場所	神戸市勤労会館	
参加人数	図書館関係	教職員関係	読書ボランティア	その他(一般、学生)	合計	図書館・教職員
	46	65	50	37	198	56%
講演	タイトル:「本にはことばの引き出しがいっぱい」 講師:元NHKエグゼクティブアナウンサー 村上信夫					

(7) ビデオミニシアター

映画等の鑑賞を通じて県民文化の発展に資するとともに、所蔵資料の有効活用を図る。洋画・邦画の名作や記録映画などの上映と、上映作品に関連した図書を紹介し、図書の利用へと繋がることをもめざす。ボランティアが上映作品の選定等の運営に参画している。

28年度は、耐震化工事に伴う休館のため4月23日より3日間開催した。仮設図書館では、試写室がないため、上映を行っていない。

上映作品:「大黄河 第7集第8集」(日本1987)、「太陽がいっぱい」(フランス・イタリア1971)などを上映。

(8) 資料企画展示および関連講座の実施

県民のふるさと意識を高め広くふるさとひょうごの情報を提供する知の拠点「ふるさとひょうご何でも図書館」、あらゆる機関と連携するネットワーク拠点「連携する図書館」、あらゆる世代を対象に行動する創造の拠点「行動する図書館」となることを目指し、テーマを設定して本・モノ・講座で展開する。

① ふるさとひょうご特別展示・企画展示

ふるさとひょうごゆかりのテーマを設定して、当館所蔵の資料を中心に本、モノ、講座(ワークショップ等)を行い、広く県民にふるさとひょうごについて発信し、ふるさとひょうご意識を高める知の拠点を目指して事業展開する。

テーマ	展示場所	期間	内容
生誕130年谷崎潤一郎展	大閲覧室	28. 1.22~ 6. 5	2015年は谷崎潤一郎没後50年であり、2016年が生誕130年という節目の年にあたり、それに伴い、谷崎潤一郎の著作・研究書などの関連資料を中心に展示。また、芦屋市谷崎潤一郎記念館、ピッコロシアター公演「天空の恋ー谷崎と猫と三人の女ー」と連携し、新たに刊行された全集を始めとした関連資料を展示。 ※芦屋市谷崎潤一郎記念館、兵庫県立尼崎青少年劇場(ピッコロシアター)と連携。

本から学ぶ防災	大閲覧室	28. 1. 15～ 6. 5	2016年は阪神・淡路大震災から21年目、東日本大震災から5年目にあたることにちなみ、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害発生が危惧される今日、過去の災害をふり返り、防災への意識を高めるため、両震災の基礎資料に加え、報道、文学、地学、歴史など様々な切り口から、所蔵資料を展示。
真田丸～真田幸村の生きた時代展～		28. 2. 19～ 6. 5	2016年NHK大河ドラマに戦国時代屈指の知将「真田幸村」が取り上げられるのを機に、幸村の足跡とその時代を当館所蔵の図書資料を中心に展示し、幸村と並び称される兵庫ゆかりの武将「後藤又兵衛」に関する図書資料等を合わせて展示。
こども服の世界 一本で見る特別な品～	仮設3階閲覧室	28. 10. 1～ 29. 1. 18	2016年後期NHK朝の連続テレビ小説『べっぴんさん』（ファミリーア創業者・坂野惇子）にちなみ、子供服の世界を当館資料で展示。
真田幸村と大坂五人衆	仮設2階閲覧室	28. 10. 30～ 12. 27	2016年NHK大河ドラマに「真田幸村」が取り上げられるのを機に、大坂の陣等の関連資料を展示。また、兵庫県加西市で関連講座を実施。
兵庫の最先端技術最前線	仮設4階閲覧室	28. 10. 21～ 29. 1. 18	兵庫県にまつわる最先端技術関連の図書を県内の施設と連携して、「スーパーコンピュータ」「Spring-8」「農業技術・植物工場」等に分類して展示。
山田錦から日本酒のできるまで	仮設4階閲覧室	29. 1. 20～ 29. 5. 17	2016年は明石の農業試験場で誕生した新種米が山田錦と命名されてから80周年にあたり、兵庫県は全国の日本酒の総出荷量のおよそ4分の1を占める灘五郷があることから、関連資料を展示。
人間国宝「桂米朝」	仮設3階閲覧室	29. 1. 20～ 29. 5. 17	兵庫県立歴史博物館での展覧会「特別展人間国宝・桂米朝とその時代」に連携して、桂米朝に関する資料を展示。
ストレスと向き合う ～心のケア・健康～	仮設3階閲覧室	29. 1. 20～ 29. 5. 17	心の病は誰でもかかる可能性のある身近な病であり、近年社会の関心も高まってきていることから、ストレスとの向き合い方を考え、心の健康について理解を深めるため、関連資料を展示。

② 図書展示

テーマ	展示場所	期 間	内 容
ふるさと起業で地元を 元気にしよう!!	大閲覧室	27. 11. 20～ 28. 6. 5	平成27年10月に「兵庫県地域創生戦略」が策定され、「地域の元気づくり」を目標に多くの取り組みが始まった中で、日本政策金融公庫明石支店やひょうご産業活性化センターと連携して、ふるさと起業や地域の元気づくりにつながる図書資料・パンフレットなどを展示。
ひょうご妖怪談義：小泉八雲、柳田國男、そして水木しげる	ふるさとひょうご 情報室	27. 12. 1～ 28. 4. 22	平成27年11月30日に兵庫県にゆかりの深い水木しげるさんが死去したことから、同氏の著作を、同氏に大きな影響を与えた小泉八雲・柳田國男両氏などの著作とともに展示。
坂本七海男鉛筆画	ふるさとひょうご 情報室	28. 2. 24～ 6. 5	ひょうごゆかりの鉛筆画家で加古川在住の坂本七海男さんから鉛筆画の寄贈を受けたのを機に、鉛筆画に描かれている蒸気機関車や映画スター等の関連本、絵画に関する本を展示。
阿久悠作品と軌跡	ふるさとひょうご 情報室	28. 1. 15～ 6. 5	ひょうごゆかりの作家の阿久悠関連本やCDの寄贈を受けたことを機に、関連本とともに展示し、その軌跡をたどる。
祝!!センバツ出場 長田高校×明石商業高校	ふるさとひょうご 情報室	28. 2. 19～ 4. 22	第88回選抜高校野球大会で兵庫県から選出された県立長田高校と市立明石商業高校が出場するのを機に関連本を展示。

万国博覧会	ふるさとひょうご 情報室	28. 3. 26～ 6. 5	兵庫陶芸美術館での展覧会「明治有田 超絶の美 一万国博覧会の時代ー」に関連して、万国博覧会に関する当館所蔵資料を展示。
ピッコロシアター連携 企画展示「メトミミト ヤミー小泉セツと八雲 の怪談一展」	ふるさとひょうご 情報室	28. 4. 22～ 6. 5	兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）と連携し、小泉八雲と妻セツに関連する資料を展示。
読み継がれてきた絵本	大閲覧室	28. 4. 22～ 6. 5	子ども読書週間にあわせて、長い間読み継がれてきた絵本を展示。
次の本へ	大閲覧室	28. 4. 22～ 6. 5	神戸新聞に連載中の企画と連携し、新聞で紹介された本や関連資料を展示。
敬老の日法制化50年	仮設4階閲覧室	28. 9. 1～ 10. 19	敬老の日法制化50年にちなみ、発祥の地とされる多可町八千代区での取り組み資料や、読書推進運動協議会の「敬老の日読書のすすめ」関連資料を展示。
星新一生誕90年	仮設2階閲覧室	28. 9. 1～ 11. 10	「ショートショート的神様」と言われる小説家、SF作家である星新一生誕90年にちなみ、星新一関連資料を展示。
新聞書評コーナー	仮設3階閲覧室	28. 9. 1～	各種新聞記事の書評欄で紹介された資料を展示。
秋です。村上春樹で す。	仮設2階閲覧室	28. 9. 22～ 10. 28	ノーベル文学賞の有力候補とされる村上春樹関連資料を展示。
世界遺産ポンペイの壁 画展	仮設2階閲覧室	28. 10. 15～ 12. 27	県立美術館の展覧会「日伊国交樹立150周年記念 世界遺産ポンペイの壁画展」と連携し、関連資料を展示。
夏目漱石と村上春樹	仮設2階閲覧室	28. 10. 19～ 29. 1. 18	2016年は夏目漱石没後100年にあたり、ノーベル文学賞有力候補とされる村上春樹と合わせて二人の作品を読み比べると共に関連資料を展示。
トライやる「読書」 ウィーク	仮設2階閲覧室	28. 11. 11～ 29. 1. 18	トライやる・ウィークに参加した中学生が、自分たちの視点で「宇宙」「秋の味覚」「お正月料理」といったテーマを設定して資料を展示。
防災～命を守る 未来 へつなぐ～	仮設2階閲覧室	28. 12. 27～ 29. 7. 20	被災地県の図書館として、震災関連資料や防災、減災に関わる資料を展示。
生誕80年・没後10年阿 久悠展	仮設4階閲覧室	29. 1. 20～ 29. 5. 17	2017年は淡路島出身の阿久悠の生誕80年・没後10年にあたる。日本の歌謡界を担った一人である阿久悠の関連資料を展示。
わたしたちの兵庫～兵 庫県を調べよう～	仮設2階閲覧室	29. 1. 20～ 29. 5. 17	兵庫県の文化や名所、産業、方言等のテーマで資料を展示し、兵庫県について紹介。

③ ふるさとひょうご便（ロビーギャラリー等）

郷土の偉人の原画展（ホナマタベーものがたり原画展等）等、ふるさとひょうごへの思いを表すものを紹介する。

テーマ	展示場所	期 間	内 容
ホナマタベーものがたり原画展	1階ロビー	28. 2. 19～ 6. 5	「大坂夏の陣400年・後藤又兵衛」展用に制作した大型方言講談絵本「ホナマタベーものがたり」の原画を企画展と連動して展示。

④ ふるさとひょうご巡回展示文庫（館外巡回イベント）

さまざまな機関と連携し、アウトリーチ事業を展開する。多様なテーマで本の空間を作る本のピクニックやワークショップ、また県立図書館をPRする広報ブース出展等を行う。

テーマ	参加人数	期 間	内 容
南あわじ市玉青館での展示と「三味線講談 de ベッチョナイアート！」	45人	28. 8. 7	南あわじ市玉青館での展示にあわせて大型方言講談絵本を貸し出し、講座「三味線講談 de ベッチョナイアート！」に協力。 (参考) 展示期間：28. 7. 16～9. 25、入館者数：642人
明石城まつり 本のピクニック	228人	28. 10. 8 10. 9	明石城まつりに広報ブースとワークショップを出展。
「真田丸」パネル展×後藤展又兵衛展での大型方言講談絵本実演	62人	28. 10. 22	加西市と連携し、加西市の「真田丸」パネル展×後藤展又兵衛展で大型方言講談絵本を実演。 連携展示：「真田幸村と大坂五人衆」
ふれあいの祭典共同広報	500人	28. 10. 29	ふれあいの祭典で県立の社会教育施設と連携し、図書館の活動を広報。
起業応援セミナー2017での図書展示	85人	29. 1. 21	明石の元気を創り出す「起業応援セミナー2017」に県立図書館の所蔵するビジネス支援関連図書を展示。

⑤ ミニ展示

特に話題性の高いテーマについて随時関連資料を展示する。各分野毎でも、書架を利用して、棚展示を行う。

テーマ	展示場所	期 間	趣 旨 ・ 内 容
享保の改革 —300年前の構造改革—	大閲覧室	28. 1. 22～ 6. 5	享保元年（丙申 1716年）、徳川吉宗が江戸幕府八代将軍となり、吉宗指導のもと、幕政改革「享保の改革」が行われた。江戸幕府の改革政治に関する資料を展示。
いよいよ 花粉、黄砂、PM2.5・・・の季節です		28. 2. 24～ 6. 5	春になると花粉、黄砂、PM2.5・・・など飛び交い、人によっては大変な季節です。関連資料を展示。
司馬遼太郎没後20年記念		28. 3. 18～ 6. 5	司馬遼太郎の没後20年にあたることを受け、同氏の著作や同氏に関する図書を展示。
追悼 上田正昭		28. 3. 18～ 6. 5	城崎生まれの古代史学者、京都大学名誉教授であった上田正昭氏を追悼して著作を展示。
KOBELCO森の童話大賞金賞受賞作		28. 3. 24～ 4. 7	「KOBELCO森の童話大賞」の金賞受賞作品を(株)神戸製鋼所より寄贈を受け、展示して展示。
新幹線で北海道へ		28. 3. 26～ 4. 7	3月26日に北海道新幹線が開通するのに合わせ、新幹線の車両や歴史、北海道の地理等に関する資料を展示。
チャップリンデー		28. 4. 7～ 4. 21	チャールズ・チャップリンが4月16日に生まれたことにちなみ、この日はチャップリンデーと呼ばれています。チャップリンに関する資料を展示。
シェイクスピア没後400年		28. 4. 22～ 6. 5	今年はウィリアム・シェイクスピアが1916年4月23日に亡くなってから400年になります。また、この夏、兵庫県立芸術文化センターにて「夏の夜の夢」のオペラが上演されることから、シェイクスピアに関する資料を展示。
憲法		28. 4. 30～ 5. 4	5月3日の憲法記念日にちなみ、日本と諸外国の憲法に関する資料を展示。

伊藤若冲 生誕300年	大閲覧室	28. 5. 4～ 6. 5	今年生誕300年を迎えた伊藤若冲に関する資料を展示。
柄谷行人		28. 5. 4～ 5. 20	『定本 柄谷行人文学論集』の出版に際し、著作等の関連資料を展示。
祝・世界文化遺産登録勧告 国立西洋美術館		28. 5. 20～ 6. 5	国際記念物遺跡会議により国立西洋美術館に対する世界文化遺産登録勧告がありました。これを記念し、国立西洋美術館を手掛けたル・コルビュジエに関する資料を展示。
〇〇の秋	仮設館2階・3階	28. 10. 21～ 12. 27	秋を共通テーマに、各階の分野に関する資料を展示。2階：登山に関する本を中心に、行楽について 3階：日本料理のレシピ集を中心に、料理について
雪と氷の世界		28. 12. 6～ 29. 2. 28	冬の展示として「雪」と「気候」をキーワードに仮設館2階・3階ともにそれぞれの分野で関連する資料を展示。
雪の世界と文学		29. 1. 28～ 2. 28	ミニ展示「雪と氷の世界」に合わせ、雪にまつわる物語、詩集、絵本を展示。
梅		29. 3. 1～ 4. 8	梅を共通テーマに、各階の分野に関する資料を展示。2階：「梅」がタイトルに含まれる文学作品 3階：名所や梅に関する資料
相撲		29. 3. 17～ 5. 23	大相撲3月場所の開催にあわせ、相撲の歴史や歴代の力士にスポットをあてて資料を展示。

⑥ 展示関連講座

テーマ	参加人数	期間	内容
ストレスとしなやかに付き合う方法	30人	29. 3. 5	企画展示「ストレスと向き合う」関連講座として明石公園花と緑のまち作りセンター研修室にて実施。 講師：臨床心理士 中村経子

(9) 教員研修の実施

① 高等学校初任者研修

図書館利用教育の研修を高等学校初任者研修の選択研修として例年実施。（今年度(28年度)は休館中につき実施していない）

② 明石市内学校初任者社会体験

図書館利用教育の研修を明石市内学校初任者社会体験の校外研修として実施。（今年度(28年度)は休館中につき実施していない）

③ その他研修事業

項目	参加人数	期間	内容
インターンシップ (のじぎく特別支援学校)	1人	28. 10. 11～ 10. 14	図書館業務全般
インターンシップ (神戸市立中学校)	14人	28. 11. 15～ 11. 28	図書館業務全般

(10) ボランティアの活用の推進

従来の運営ボランティアのほか、平成24年度より、司書課程専攻の学生ボランティアやビデオミニシアターの運営ボランティアを随時受入れている。また、26年度よりアウトリーチ活動を強化するため講座等の講師を担当するボランティアのひょうご図書館研究員制度を設置するとともに、企画展示関連講座等への学生イベントボランティアの参画を図った。今後も大学との連携、積極的な働きかけを行い大学生ボランティア活動の一層の充実を図る。

① 運営ボランティア

活 動 内 容	活動人数	回 数
書架の整理	14人	週 1 回
協力貸出・託送業務補助	2 人	週 1 回
資料整理の補助	4 人	週 1 回
ビデオミニシアター企画・運営補助	1 人	月 2 回
企画展示関連講座	1 人	随時
デジタルビデオ編集基礎講座講師	—	随時

② 大学生ボランティア

活 動 内 容	活動人数	回 数
書架の整理、企画展示関連講座等の補助	4 人	週 1 回

③ ひょうご図書館研究員

活 動 内 容	活動人数	回 数
館外巡回イベント	2 人	2 回

3 市町立図書館等への支援・協力業務の推進（相互協力センター機能）

（1）図書館相互協力による資料相互貸借の推進（協力貸出）

市町立図書館への協力貸出や学校サポートプロジェクトによる「セット貸出」の利用促進を図り、よりきめ細かい全県サービスを展開する。

〈市町立図書館への協力貸出〉

年度	図書館数 (公民館図書室含む)	貸出冊数
H28年度末	94館	8,536冊
H27年度末	102館	13,119冊

〈その他（大学・県外等）〉

貸出冊数
753冊
1126冊

〈学校サポートプロジェクト〉

高等学校等との連携による探究学習・本のしくみを学ぶ講座や学校図書館実務担当教員への出前講座、主権者教育等の新たなテーマによるセット貸出等をモデル事業として実施する。

また、学校サポート事業の実践例を講座やひょうご子ども読書活動推進フォーラム等においてPRを行い、図書館を活用した授業の浸透と拡大を図っている。

年度	学校数	貸出冊数
H28年度末	23校	4,562冊
H27年度末	30校	5,190冊

（2）市町立図書館等職員およびボランティアへの研修実施

公共図書館・公民館図書室等の職員を対象に、資質の向上を図る研修を実施する。

① 図書館等職員研修講座

高度情報化など社会環境の変化に対応できる図書館員としての専門性の向上を図る。

テーマ	参加人数	期 間	内 容
館長研修	52人	28. 6. 1	「公共図書館を運営すること」 講師：内野安彦（元塩尻市立図書館長・常盤大学非常勤講師）
新任研修	52人	28. 4. 28	「図書館サービスの基本について」「蔵書検索入門」 「資料の取扱い方について」「著作権法入門」 講師：県立図書館 井上 橋立 植田 荒川
レファレンス研修	22人	28. 11. 17	「レファレンスインタビューのコツ」「兵庫ゆかりの情報調べ方」「国立国会図書館レファレンスサービス研修について」「演習課題の解説」 講師：県立図書館 豊浦 橋立 植田 荒川 前川
	22人	28. 12. 15	

② 県立図書館ボランティア研修講座

県立図書館で活動するボランティアを対象に、図書館の役割やサービスの基本などの理解を目的として4月に実施した。

期日：28. 4. 16 参加者：8人 期日：28. 4. 22 参加者：3人

③ 「出前講座」による研修講座（2-(5)-③から再掲）

県内市町立図書館職員やボランティアに対して、要請に応じたテーマで当館職員等が研修を行う。

(3) 県内図書館への指導・助言

県内市町立図書館の実情を把握し、指導・助言を行うとともに相互協力担当者の連携を図り、円滑な協力体制を推進する。

① 地区別図書館協議会会議への出席

県内各地区に設けられている協議会からの要請により職員を派遣した。

② 相互協力担当者連絡会の開催

県内図書館間の相互協力を円滑に進めるための情報提供や意見交換を行った。

期日：28. 5. 6 参加者：69人

(4) 兵庫県図書館協会として研修会等の実施

① 研究集会

図書館を取り巻く最近の情勢の中から、加盟館の要望によりテーマを決めて実施する。

テーマ	参加人数	期 間	担 当	会 場
図書館における障害者サービス	32人	28. 11. 25	阪神地区公共図書館協議会	芦屋市立図書館
図書館の評価と指標	32人	29. 1. 20	播但図書館連絡協議会	加古川市立中央図書館

② 地区別研修会

図書館員が日々直面する実務的なテーマについて、各館の要望を基に企画し、地区別に開催する。県内5地区（神戸・阪神、東播磨・北播磨、中播磨・西播磨、但馬・丹波、淡路）で開催した。

テーマ	参加人数	期 間	地 区	会 場
魅力的な手書きPOPの描き方	20人	28. 9. 6	但馬・丹波	朝来市和田山公民館
ソーシャルメディアによるコミュニケーションのススメ	18人	28. 9. 14	淡路	洲本市立洲本図書館
障害者サービス/手話講習	38人	28. 9. 15	神戸・阪神	神戸市立中央図書館
図書館サービス・著作権法	29人	28. 10. 7	東播磨・北播磨	明石市生涯学習センター分室
魅せる展示・棚づくり	17人	28. 10. 12	中播磨・西播磨	姫路市立城内図書館

③ 情報交換会

地区別研修会と同日開催し、県内図書館が抱える様々な問題点等の現状を話し合い、解決策を検討した。